

藤里駒ヶ岳山頂

ここは、藤里駒ヶ岳（1,158 m）の最高地点である。晴れた日には、岩木山（1,625 m）が北東に見える。西側には、白神山地の核心地域の原生林がある。

白神山地は 1993 年にユネスコの世界遺産に登録された。秋田県と青森県の一部を含むこの地域は、緩衝地帯と、保護区域である核心地域の 2 つからなる。事前の許可なく核心地域でハイキングを行うことは禁止されている。

白神山地の大部分はブナの老齢樹に覆われており、核心地域は 8,000 年以上にわたって人間の手が加えられていない。それは、日本に残された最大の原生林の一つである。森林が人里離れた場所にあり、斜面が急であることから人が住みにくく、周辺地域は日本の本州最後の秘境の一つであった。しかしそれは江戸時代（1603～1867）までの話である。海岸沿いに発展した集落は、漁業と一部の林業に依存していたが、森林にはすぐに利用できる資源がなかったため、森の奥深くは、広範囲にわたって開拓されることがなかった。

山の奥深くに足を踏み入れる人はほとんどなく、山へ入っていたのは主に木こり、そして冬になると鹿と熊を探しに山へ入る猟師のマタギだけであった。その数はかなり少なくなったが、今日に至るまで昔ながらの方法で狩りを続けるマタギもいる。